

編集後記

- ◇ 本誌156号の特集には、3月16日にオンラインで開催した「令和4年度いも類講演会」の内容について講師の方から寄稿いただいた。今回の講演会のテーマは、栽培体系の機械化・省力化、軽作業化。ジャガイモでは、ソイルコンディショニングシステム、サツマイモについては新たに開発された青果用の高機能挿苗機などによる省力機械化体系について説明されている。
- ◇ 以前、ジャガイモでは浅植えと丁寧な中耕・培土が基本とされていたが、ソイルコン栽培では種芋植付と同時に培土を行うので、その後の管理作業は、除草剤散布と病虫害防除のみとなる。技術導入時に懸念された生育阻害はなく、品質向上効果と規格内芋の増収が同時に実現されている。筆者も本年、菜園で萌芽前に一気に培土して試しているが、5月下旬の時点では生育は極めて順調、収穫時の検証を楽しみにしている。
- ◇ サツマイモでは、プロジェクト研究により、舟底植えに対応できる青果用高機能挿苗機と機械植えに適した育苗方法が開発された。挿苗機については本年、井関農機株式会社から発売されており、生産現場への導入が進む見込みである。サツマイモの輸出が伸びる一方で、基腐病が供給の制約要因となっている状況にあることから、国内での生産力の強化に繋がることを期待したい。
- ◇ 本年5月に、振興会のホームページを開設した。 <https://imoshin.or.jp/>
これまでは、情報が複数のサイトに分散していたが、ユーザーの利便性確保と管理の効率化を図ることとした。まだコンテンツが不足しているので、今後、充実させていきたい。なお、サツマイモ事典については、2010年に発行した後、絶版状態となっていたことから、『サツマイモ事典（Web版）』として公開している。詳細な目次にも対応したPC版（Firefox系のブラウザで稼働）のファイルセットも用意しているので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。

いも類振興情報 第156号
2023(令和5)年7月15日発行

定価 1部 500円
年間購読料(季刊) 2,000円

発行 一般財団法人 いも類振興会
〒107-0052 東京都港区赤坂6-10-41 ヴィップ赤坂303
TEL 03-3588-1040 FAX 03-3588-1225
E-mail: imoshin@fancy.ocn.ne.jp
郵便振替 00130-1-110152

印刷 株式会社丸井工文社